



広島大学大学院人間社会科学研究科

教職開発専攻

(教職大学院)

令和4年度



▶ 学校マネジメントコース ▶ 教育実践開発コース

GRADUATE SCHOOL OF HUMANITIES AND SOCIAL SCIENCES
PROFESSIONAL DEVELOPMENT PROGRAM FOR TEACHERS AND SCHOOL LEADERS

「実践的で総合的な
プロフェSSIONナル」としての
教員を目指して。



広島大学大学院人間社会科学研究所
教職開発専攻長

山崎 敬人

教職大学院は、高度専門職業人養成としての教員養成に特化した専門職大学院として、社会の大きな変化や複雑・多様化する学校教育課題に対応し得る高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた力量ある教員の養成を目的としています。

広島大学大学院人間社会科学研究所の教職開発専攻（教職大学院）では、「探究・創造・協働の学び」を追求する新しい学校づくりを担う「総合的で実践的なプロフェSSIONナル」としての教員の養成を目指し、理論と実践を往還したカリキュラムを通して、学校や地域社会の課題解決に貢献できる優れた実践的対応力と実践研究力を育成します。

本専攻には、下記に示すような4つの特徴があり、教育現場と長年多岐に渡って連携をしてきた実績と、国際的に開かれた総合研究大学という特徴を活かし、理論と実践を往還した深い学びが期待できます。また、2つのコースがあり、学校マネジメントコースでは、新しい学校づくりを牽引し指導的な役割を果たし得るスクールリーダーの育成を、教育実践開発コースでは、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員並びに学校において指導的役割を果たすミドルリーダーの育成を目的としています。

広島大学の教職開発専攻（教職大学院）で、「実践的で総合的なプロフェSSIONナル」としての教員を目指しましょう。

本専攻の4つの特徴

1 2つのコースが育む 実践的な指導を備えた教員像

「学びのポートフォリオ」の作成や2コース合同での研究発表会、コース共通科目等を通じ、多様な学びを提供します。また、各教育委員会等の関係機関と連携し、4期に渡り50日間の実地研究を行い、実践的な指導力を身につけます。



2 学校現場が直面する 諸課題の理解を深める科目群

社会に対応する「新しい学び」（主体的・対話的で深い学びやICTなど）のあり方や教育相談・生徒指導上の諸課題、「チーム学校」の一員として協働するためのマネジメントなど、学校現場が直面する諸課題への実践的対応力を総合的に身につけます。

不登校	いじめ
ICTの活用	SDGs
Society 5.0	貧困・虐待
グローバル化・多様化社会	

3 「トライアングル型体制」による 細やかで丁寧な指導

研究者教員、実務家教員、メンターが連携・連動し、形式知に基づく指導、実践知に基づく指導、実際の現場での実践的指導を展開します。学校現場で活躍できる「総合的で実践的なプロフェSSIONナル」養成のためのきめ細やかな指導を行います。



4 多彩な国際的ネットワークを生かした 学際的な教育・研究活動

アメリカ現地校で授業実践を行う「海外教育実地研究」をはじめ、教員の有する海外の教育・研究機関との幅広いネットワークを活かして教育現場の視察や学会へ参加するなど、SGUならではの多様な経験を積むことができます。

※SGU: Super Global University



これからの学校づくりを牽引するスクールリーダーを育成

学校マネジメントコース

■ コースが目指す教員像

学校マネジメントコース（現職教員対象）では、学校づくり、理論づくり、自分づくりの3つの視点から、これからの学校づくりを牽引するマネジメント力を備えたスクールリーダー（学校管理職や教育行政職）の育成を目指します。

■ 学びの特徴

少人数のゼミ形式で
徹底した学びを追求できる
必修科目群

自らの研究テーマを設定し、関連する文献の精読や考察、指導教員・研究室メンバーとの討議を通じてマネジメントに関する理解を深めていきます。



実習校との連携協働による
トライアングル型指導で
ニーズに応じた指導を実現

研究発表会に教育委員会指導主事、学校管理職にも出席をおこなうなど、自身の研究について理論と実践の双方の観点から指導を受けられる機会が充実しています。



教育委員会・連携協力校での
教育行政・学校経営を経験

教育委員会において実際に教育行政職の実務を体験したり、実地研究校において校長職務のシャドーイング（密着研修）を経験したりすることで視座を高めます。



■ 学びのプロセス

	ねらい	理論・コンセプトの構築	省察	実践・経験
1年 前期	これからの学校づくりを見据えた研究テーマの設定	共通科目/コース選択科目 基礎知識の習得	アクションリサーチ・セミナーI テーマ設定	アクションリサーチ実地研究I 教育行政実務 教育委員会において職員をメンターとして10日間の教育行政の実務を経験します。
1年 後期	実習を通じた自己の使命感の向上と理論構築	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の構想	アクションリサーチ・セミナーII アクションリサーチの計画	アクションリサーチ実地研究II 学校管理職実務 校長の職務について10日間の密着研修を行います。
2年 前期	スクールリーダーの視点からの学校づくりの模索	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の検証・再構築	アクションリサーチ・セミナーIII 学校づくり・学校改善の実践	アクションリサーチ実地研究III・IV 学校改善のための学校マネジメントの実践 所属校の校長をメンターとして、院生は所属校において、「セミナーII」で作成したアクションプランをもとに新しい学校づくりを追求します。管理職や同僚の理解・協力を得ながら「探究・創造・協働の学び」を促進するマネジメント力を育成します。
2年 後期	2年間におよぶ学校と自分のミッションの追求の総括	共通科目/コース選択科目 自らの理論の構築「課題研究報告書」	アクションリサーチ・セミナーIV 総括的な評価・改善	

新しい学校づくりの有力な一員となる新人教員、学校づくりの中心となるミドルリーダーを育成

教育実践開発コース



■ コースが目指す教員像

教育実践開発コース（学部新卒生および現職教員対象）では、新しい学びや諸課題に対応した授業実践とその理論的な省察を通して、理論に基づいた確かな実践力をそなえた新人教員及びミドルリーダーの育成を目指します。

■ 学びの特徴

学部卒学生と 現職教員学生が交わる 協働の学びの場

教育実践開発コースでは学部卒学生と現職教員学生が院生生活を共にします。講義内や院生室での双方の視点からの活発な交流が、新たな気づきや深い学びを促します。



学校現場の フィールド理解に基づいた 実践力・対応力の育成

指導する全教員は教職等の経験を有するか、長らく学校現場と協同しています。理論と実践の往還を自らも目指す教授陣から学校現場と乖離しない実践力・対応力を学べます。



トライアングル型指導体制 （大学教員2名+メンター） による高度な実践力の育成

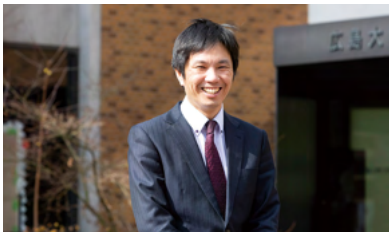
実地研究校における4回のアクションリサーチ（AR）のそれぞれで理論に基づいた実践を展開。確かな専門性に基づいた高度な教育実践力を身につけることができます。



■ 学びのプロセス

	ねらい	理論・コンセプトの構築	省察	実践・経験
1年 前期	現代的教育課題への意識を持ったテーマの設定	共通科目/コース選択科目 基礎知識の習得	アクションリサーチ・セミナーI 実態把握とテーマの立案	アクションリサーチ実地研究I 実態把握と実践計画 ARセミナーで学んだ知識や理論に基づいて児童・生徒の実態を把握し実践計画を立て、実行します。
		共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の構想	アクションリサーチ・セミナーII テーマにそった授業実践の計画	アクションリサーチ実地研究II 実態に即した授業実践 AR実地研究Iで把握した実態に基づき、テーマに沿った授業実践を試行します。
1年 後期	フィールド理解に基づいた授業実践力の育成	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の検証・再構築	アクションリサーチ・セミナーIII 課題意識と理論に基づく授業研究	アクションリサーチ実地研究III・IV 理論と実践の往還を通じた授業づくり・授業改善 学部卒院生は実地研究校、現職教員院生は所属校において、PDCAサイクルに基づいた授業づくり・改善を繰り返します。 4期におよぶAR実地研究での授業実践研究を通じて課題対応力・実践力を育成します。
		共通科目/コース選択科目 自らの理論の構築「課題研究報告書」	アクションリサーチ・セミナーIV 授業実践・改善を元にした理論構築・総合考察	
2年 前期	理論に基づいた授業づくり・改善を通じた授業実践研究力の育成	共通科目/コース選択科目 自らの理論（仮説）の検証・再構築	アクションリサーチ・セミナーIII 課題意識と理論に基づく授業研究	アクションリサーチ実地研究III・IV 理論と実践の往還を通じた授業づくり・授業改善 学部卒院生は実地研究校、現職教員院生は所属校において、PDCAサイクルに基づいた授業づくり・改善を繰り返します。 4期におよぶAR実地研究での授業実践研究を通じて課題対応力・実践力を育成します。
		共通科目/コース選択科目 自らの理論の構築「課題研究報告書」	アクションリサーチ・セミナーIV 授業実践・改善を元にした理論構築・総合考察	
2年 後期	2年間の授業実践・省察を通じた実践研究としての新規性の提案	共通科目/コース選択科目 自らの理論の構築「課題研究報告書」	アクションリサーチ・セミナーIV 授業実践・改善を元にした理論構築・総合考察	

学生からのメッセージ



学校マネジメントコース
2019年度入学生
下田 慶史
現職教員学生

私は、これからのスクールリーダーに求められる資質や能力を身につけていきたいと思い、学校マネジメントコースに入学しました。『探究する生徒』の育成を目指すカリキュラム・マネジメントに関する研究をテーマに掲げ、研究を進めています。単にカリキュラム・マネジメントの概念や手法を取り入れるというのではなく、学校のミッションやこれまでの歴史を踏まえ、課題を認識した上で、セミナーを中心とした議論を通じて自分の理論づくりを行い、実践していきます。今は、その実践を提案することで、学校での議論が巻き起こり、次に向けた動きが少しずつ現れてきている渦中にあります。この動きをファシリテートしていくことが私の役目であり、今後の学校づくりへとつなげていきます。実践しながら省察をすることで、理論を再構築するという「アクションリサーチ型の探究」によって、スクールリーダーとしての基軸を構築していきたいと思っています。



教育実践開発コース
2018年度入学生
中島 敦夫
現職教員学生

私はこれまで、現場で図画工作科の題材開発などの実践を積み重ねてきたのですが、教職大学院で理論に基づいた実践を行うことでこれまでの研究成果をより確かなものにし、教育現場に還元したいという思いを持って入学しました。学生生活を通して、教員としての視野も広がったと思います。ミドルリーダーとして、若手をサポートするとともに、学校でどのように研修成果を生かして貢献するかを考えるようになりました。日々、科学技術が進歩するように学校現場でも新たな取り組みが始まったり、様々な課題を乗り越えたりすることが要求されます。現状に満足せずに謙虚な気持ちをもって様々な人から学べる、学び続ける教員になりたいです。教育実践開発コースでは、自身の研究内容を発展させていくとともにストレートマスターと関わることで年齢ステージにあった自らの校内での立ち位置を考えることができます。教員としての視野を広げることができる貴重な2年間になると思います。



教育実践開発コース
2019年度入学生
小川 莉奈
学部卒学生

私は教員としての強みを持って現場で働きたいと考え、教職大学院に興味を持ちました。また、実地研究を通して、より実践的な学びを習得することに大きな魅力を感じ、本専攻を目指しました。校種や専門の異なる現職教員の先生方や学部卒院生と共に学ぶことを通して、自分が教員として果たすべき役割を、校種や教科といった狭い視野ではなく、学校教育を俯瞰して考えることができるようになりました。私自身は、学校という集団の中で学んでいる子ども達の多様な個性や背景、学習スタイル等に柔軟に対応できるとともに、常に子どもと共に学び続けることができる教員を目指しています。本専攻は、知識や理論の習得に限らず、学んだ理論を現場で実践し、実践から学んだことを改めて理論として再構築する力や、教員に不可欠な協働する力を育成する上で最適な環境であると感じています。

専任教員紹介

学校マネジメントコース



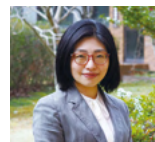
教授
道徳教育、
教育課程論
宮里 智恵



准教授
学校経営の
実践的研究
吉賀 忠雄



准教授
地域教育経営論、
教員研修
米谷 剛



准教授
教師教育学、
教育哲学
岡村 美由規

教育実践開発コース



教授
授業構成論、
学習指導論、
理科教育
山崎 敬人



教授
授業構成論、
学習指導論、
算数科教育
松浦 武人



教授
教育方法学、
道徳教育
鈴木 由美子



教授
教科教育学、
家庭教育
伊藤 圭子



教授
教科教育学、
国語教育
松本 仁志



准教授
学習評価論、
体育科教育
大後戸 一樹



准教授
授業分析論、
理科教育
木下 博義



准教授
教科教育学、
社会科教育
永田 忠道



准教授
教科教育学、
英語教育
岩坂 泰子



准教授
教科教育学、
音楽教育
寺内 大輔



准教授
教科教育学、
美術教育
池田 吏志



准教授
学級経営方法論、
教育実践学
大久保 幸則



准教授
生徒指導方法論、
教育実践学
木佐木 太郎



講師
教育心理学、
対人スキル指導
高橋 均



講師
学校心理学、
教育相談・生徒指導
山崎 茜

教職大学院では、掲載されている専任教員以外にも、人間社会科学研究所教育科学専攻の教員や客員教員など、豊富な教授陣が連携して指導にあたります。

授業科目

コース区分	学校マネジメントコース	教育実践開発コース	単位
大学院共通科目	「持続可能な発展科目」から1単位、「キャリア開発・データリテラシー科目」から1単位		2
研究科共通科目	「人間社会科学特別講義」または「平和教育の構築への実践的アプローチ」からいずれか2単位		2
コース 共通科目 ※1	教育課程の編成・実施に関する領域 教科等の実践的な指導方法に関する領域 生徒指導・教育相談に関する領域 学校経営・学級経営に関する領域 学校教育と教員のあり方に関する領域	教育課程開発の実践と評価 理論的思考教育の開発実践 授業研究の開発実践(ICTを含む) 幼児理解・生徒指導・対人スキル指導の理論と実践(特別支援教育を含む) 教育相談・カウンセリングの理論と実践 学級経営の理論と実践 学校経営の理論と実践(地域とともにある学校を含む) 現代教師教育の理論と実践 現代の教育改革	20
コース 選択科目 ※2	学校の経営戦略と評価 教職員の人材育成 地域教育経営の理論と実践 カリキュラムマネジメントの理論と実践	教育行政の理論と実践 教育法規の実践演習 学校の危機管理 学校経営・行政フィールド調査	11以上
コース 必修科目	アクションリサーチ・セミナー I・II・III・IV		4
学校における 実習科目	アクションリサーチ実地研究 I(教育行政職実務)・II(学校管理職実務)・III・IV(所属校実習)	アクションリサーチ実地研究 I・II・III・IV	10
			計49単位

※1 ●各科目2単位 ●学校マネジメントコースは、これまでの教職経験や研修歴等を考慮した上で、共通科目20単位のうち6単位まで、コースの選択科目の単位を共通科目の単位として充てることができます。
 ※2 ●「学校経営・行政フィールド調査」は1単位、他の科目は2単位 ●現職教員学生は、個々の院生のニーズに応じて、他コースの選択科目もコース選択科目として履修できます。

取得できる教員免許状

幼稚園教諭専修免許状	小学校教諭専修免許状
中学校教諭専修免許状 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語	高等学校教諭専修免許状 国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、書道、保健体育、保健、家庭、情報、農業、工業、商業、英語
学校心理士受験資格 取得可能	

※入学時において、一種免許状を有している必要があります。

修了後の進路

- ▶ 学校マネジメントコース
(令和4年4月現在:全18名中)
校長 1名 教頭 7名 主幹教諭 2名 教育行政職 1名
- ▶ 教育実践開発コース
(令和元年度～令和3年度:学部卒学生全43名中)
教員就職(保育士を含む) 43名
(保育園 1名 中学校 13名)
(小学校 21名 高等学校 8名)

教員就職率
100%

入学者選抜の概要

選抜区分	一般選抜	現職教員特別選抜
入学定員	30名	
コース名	教育実践開発コース	学校マネジメントコース / 教育実践開発コース
出願資格	次の①と②の要件を全て満たす必要があります。 ①大学を卒業した者(当該年度の卒業見込を含む) ②幼稚園、小学校、中学校及び高等学校のいずれか1つ以上の普通免許状を有する者(当該年度の取得見込を含む)	次の①と②の要件を全て満たす必要があります。 ①大学を卒業した者 ②以下の教職経験を持つ者 <input type="checkbox"/> 学校マネジメントコース 教職経験10年以上の者、または教育委員会の推薦を受けた者 <input type="checkbox"/> 教育実践開発コース 教職経験6年以上の者、または教育委員会の推薦を受けた者
選抜方法	書類審査/筆記試験(外国語、専門科目)/口述試験	書類審査/筆記試験(専門科目)/口述試験

※本表に記載されている内容は、令和3年度に実施した大学院入学者選抜の出願資格です。令和4年度に実施する入学者選抜(令和5年度入試)の情報は、最新の募集要項で確認してください。

お問い合わせ

広島大学大学院人間社会科学部研究科教育学系総合支援室(大学院課程担当) 〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1
 TEL:082-424-3706 FAX:082-424-7108 e-mail:kyoiku-in@office.hiroshima-u.ac.jp